

地域に愛されて、50周年！



青南だより

平成30年春休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<心を込めたお別れ会>

普段から学年の枠を越えた交流をしてきている子どもたちは、互いに相手のことを思って、お別れ会を企画したり、プレゼントを作ったりしました。かえで組にお礼やお祝いの気持ちを込めて、年中からは手作りの鉛筆立て、年少からはペンダントを手渡しました。年長の修了記念品は、フェンスに設置した看板です。お互いにすてきな歌を披露し合った後は、縦割りグループで一緒に弁当を食べました。年中が育てて初めて料理したおいしい野菜スープ付きでみんな笑顔いっぱいでした。

<憧れの心が受け継がれる日々>

お別れ会や避難訓練などでも、一つ上の学年に上がることを少しずつ意識するようになっていました。そこで、修了式は、かえで組の一番すてきな姿を見てもらう式だけれど、年中・年少のみんなにも出てもらおうと思うのだけれど、と話すともみんなの目が輝きました。当日は、年中児は誰よりも長い時間、年少児も後半から式の最後まで修了式に立派に参加して、すてきなかえで組の晴れ姿を目に焼き付けていました。特に、すてきな歌声はきっとすてきな伝統となるでしょう。

<本当にお世話になりました>

保護者の皆さんにとっても初めての幼稚園は不安もたくさんあったことでしょう。それでも、一年を振り返るとお子さんの成長を感じていただけていることでしょう。それは皆さんが青南幼稚園の教育方針などを十分にご理解いただき、献身的にご協力いただいたからこそ実現できたことです。保護者や地域の皆様に支えられてこそ、子どもたちは安心して育つことができるのだと、この一年間で実感しました。改めて深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

青南の 二十四節気

・・・青南は みんなの 心のふるさと・・・

都会でありながら、歴史と文化の香り高い南青山、青南幼稚園にはとても豊かな緑があります。青南はみんなの心のふるさとです。今年度、この街や園内外の自然の移り変わりに心を寄せて、「青南の二十四節気」をお届けしてきました。それは、身近な自然とのかかわりが、子どもたちの心を育てる情操教育にとって大事だと思うからです。

雪で折れてしまったかえでの枝は、かえで組の子どもたちの手作りの人形と一緒に修了式の会場を飾りました。そのかえでの木は、先週末の暖かさに新芽が芽吹き始めました。桜のつぼみも、修了式の日うちにどんどん開き始め、翌日には開花宣言をしたほどです。

さて、終業式では、年少・年中の一年間をしっかりと終えたことをお祝いする手作り修了証書を渡します。4月からは、幼稚園の新しい弟妹を迎えて先輩となってまいります。そのためには、元気に幼稚園に通ってくださることが何より大切です。どうぞよろしくお願いいたします。



かえで組さん、いろいろ教えてくれて、ありがとう



開園50周年記念製作 平成29年度かえで組作



修了式では、花道での祝福ありがとうございました



修了式翌日には、3、4歳で仲良く弁当タイム



週明け、園庭の桜はこんなに花が開きました